

5
2024

三重病院

ニュースレター

news letter vol.292



- 01 三重病院リハビリテーション科のご紹介
- 02 ようこそ！三重病院へ
通所支援事業のひとコマ
看護師の資格認定制度を目指す方へ
- 03 《手術室》病棟紹介
やまばとギャラリー情報コーナー
5病棟の生活のひとコマ⑧
- 04 2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
異動のごあいさつ／外来からのお知らせ
- 05 地域の医療従事者対象研修(令和6年度)
今月のみえツウちゃん
- 06 病院からのお願い／外来診察のご案内

三重病院

リハビリテーション科のご紹介



三重病院のリハビリテーション科は、この4月に新たな主任作業療法士1名・新人の理学療法士2名が加わり、理学療法士(以下、PT)12名、作業療法士(以下、OT)6名、言語聴覚士(以下、ST)3名の総勢21名体制になりました。育児休暇中の者もおりますが、新たなスタッフを得て更なる発展を目指すべく皆が一丸となって取り組んで参ります。どうかよろしくお願いいたします。



さて、このPTとOTとSTの違いについて、皆さんはご存知でしょうか？ 実はこれ、医療スタッフでも経験年数が浅いと答えるのが難しい質問なのです。ここでは、なるべく分かりやすい言葉でそれらを説明させていただき、さらにその後で三重病院ならではの特色についてお伝えしたいと思います。



まず、PTとは、運動や体操、何らかの物理的な治療機器を使って何らかの形(それが病気によるものやケガによるものが多いのですが)で生活の質が低下した方を、少しでも良い方向に導くお手伝いをする職業です。こと動作に関しては『基本的な動作』の治療・指導が専門になります。そこだけを説明するならば、寝返る・起き上がる・座る・立つ・歩くなどの動作の治療や指導を行う、というところでしょうか。

次に、OTとは、「こころとからだのリハビリテーション」とも言われていて、動作だけにとらわれず、知的な面や心の面にも配慮して治療を行う職業です。大まかには、PTが基本的な動作を専門とするならば、OTは応用動作が専門、などとも言われます。応用動作とは単に立つ・歩くなど機能面を指すのではなく、実際の家事動作など目的をもって行われる一連の動作を意味しています。療養場面や家庭生活における様々な環境調整も

専門にしています。

そして、STとは、言葉や水を飲む・ものを食べるなど口やのどに関する運動や活動を主に治療する職業です。それに加え、見る・聞く・言葉を理解するなど、知的な部分や発達に関する検査・指導も行います。



それで、三重病院リハビリテーション科ならではの特色としましては、PTですと整形外科(特に小児整形)や慢性疾患の患者様に対する客観的なデータに基づいた治療の提供が挙げられます。当院の入院患者様の治療は、どうしても個別性が高いケースが多く、一般的な病院等で皆様が思い描くような画一的な対応では治療が円滑に進まないことが懸念されます。そのため、もちろん医師をはじめ他部門とも協力し情報を集めた上でのことですが、それに加えリハビリテーション科でも各種検査機器を用いて、より効果的な治療を実施できるよう努めています。掲載した写真はその一例ですが、超音波透視装置を用いて、治療部位を患者様にも見えるようにした状態で指導・治療している一場面です。現在、患部がどうなっていて、どう動かすべきなのかをタイムリーに、かつ明確に指導することができ、効率の良い治療に繋げることが出来ます。



またOTで特筆すべき点として、進行性疾患に対する特殊なコミュニケーション機器の導入の支援を行っています。